

あ

や

け

ち

2015.MAR
No. 2

摂南大学広報誌

特集

- 全7学部の教員が語る
「意外な研究」「とっておきの学び」 P. 3
- 大学創立40周年記念イベント続々 P.13
- 必見! 就カツセミナー P.18



摂南大学は、2015年4月に創立40周年を迎えます。

SETSUNAN UNIVERSITY 

学 長 挨拶

Setsunan University



学長 今井 光規
Imai Mitsunori

摂南大学は、本年4月に創立40周年を迎えます。大学を取り巻く環境はますます厳しくなりますが、本学では早くも50周年に向けて、さらなる発展のために積極的な長期計画を策定しています。

2012年に制定した本学のタグライン「Smart and Human」は次第に浸透してきており、高い機能と豊かな人間性を基盤とする本学の「知のネットワーク」化が進んでいます。分野・領域を超えて、学内外に広がる連携が増加しています。例えば、昨年SDG(戦略的イノベーション創造プログラム)に採択された理工薬看護学部の研究は、他大学や企業とも連携しています。

地域連携活動も発展しています。例えば、昨年本学と和歌山県すさみ町・由良町との間で、新しく「大学のふるさと」事業として協定が締結され、和歌山県との連携は全学的な取り組みとなりました。また、本学のグローバル活動は、海外インターシップや留学、青年海外協力隊関係など多様性に富むとともに、グローバル(Global/Local)な視点に立ち、本学・地方・都会・国内・海外をつなぐ広範な活動に発展しています。

学生諸君は全般的に大変意欲的です。例えば、今年度の

学長表彰では、課外活動、研究活動とも種類・件数が増えただけでなく、日本の大学を代表する人、世界を舞台に好成績を収める人が次々と現れました。図書館主催の摂大文化大賞でも、小説の入賞者が文系だけでなく理系の学部からも出ました。学部横断あるいは連携の度合いは、総合大学としての本学の成長を測るバロメーターと言えるでしょう。摂南大学の発展は、いつも学生たちのアクティブな活動が中心にあります。

昨年から今年にかけて、本学は意欲と志の高さの証となる二項目を達成しました。一つは国連の「アカデミック・インパクト」への加入が正式に承認されたこと、もう一つは環境に関する国際標準規格ISO14001の認証を取得したことです。これは、学内の環境マネジメントを徹底するだけでなく、教育の一環として、学生諸君が環境マインドを身につけ、卒業後も社会の人々と共に実践の輪を広げていくことを期待するものです。いずれも「持続可能な社会」の実現に貢献し、大学の社会的責任を果たすことを目的としています。

摂南大学は、学生諸君とともにたゆむことなく新しい道を拓いていきます。引き続き、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

学長挨拶……………2

特集
教員が語る「研究」「学び」……………3

摂南大学の特色ある取り組み……………7

国際交流・学術交流

地域交流

環境保全

インターシップ

交流会・交流戦・大学祭

図書館

学部・学生トピックス……………11

特集
創立40周年記念事業……………13

情報教育・研究支援……………16

後援会……………17

奨学金ほか・アルバイト……………17

特集
就労セミナー……………18

目次



知れば知るほど…

オモシロイ!

摂南大学の

「意外な研究」「とっておきの学び」、

全7学部の教員たちが紹介します!

[法学部]
大川 謙蔵 講師
専門は「民法」

ラオスの民法典は、
ラオス人と日本人が
一緒に作ってるんだ。



Point 1 法律を学ぶことは 社会の仕組みを学ぶこと

法律の名前として憲法、刑法、民法などを聞いたことがありますか?これらの法律はすべて、社会のルールを定めています。例えば、物を買うとどのようにするのかというのは民法に売買契約として規定されていますし、車を運転するときには道路交通法という法律が運転ルールを定めていたりします。このように、法律は私たちの生活に密接に関係する、身近な存在なんです。

Point 2 法律の知識を生かして 発展途上国の法律を整備する

法律に携わる職業として、裁判官、検察官、弁護士、司法書士、行政書士など数多くのものがあります。彼らの仕事は、罪を犯した人を追及したり、弱者のために闘ったりと、私たちの生活のあらゆる部分に関係しています。さらに、あまり知られてはいないのですが、実は日本は東南アジア諸国の法律作成に協力をしています。私も検察官、弁護士、法務省の方々と一緒に、ラオス人民民主共和国の民法典作成作業に携わり、ラオスの方たちと日々議論をしています。

このように、法律家とは国際的な分野においても幅広く活躍できる職業でもあるんです。私自身、将来ラオスからの留学生が本学で民法を学んでいる。そんな日が来ることを夢見ています。



「みんなの日本語 やさしい作文」
「MOVIE JAPANESE」



[外国語学部]
門脇 薫 准教授
専門は
「日本語教育学」

「日本語教育」とは、
まさに
「異文化コミュニケーション」

Point 1 「日本語教育」を通して 日本、日本語、 そして世界を見る

私たちの日常には説明が難解だったり、使い方を間違っていたり、実は名称を知らなかったりする日本語がたくさんあります。外国人学習者に日本語を教えるには、このこともしっかり踏まえて「外国語としての日本語」を学び、さらに文化や政治・経済の動きも関連づけて考える必要があります。日本語教育では、国籍も母語も文化も年齢も宗教も異なる多様な人たちに日本語を教えるわけです。だから教室の中は毎日が「異文化コミュニケーション」なのです。

Point 2 活躍の場は、国内はもちろん 世界中にある

ゼミでは、海外の日本語教育を支援するためのプロジェクトワークを毎年行っています。例えば、韓国の大学の日本語授業とのコラボで、スカイプを使って「バーチャル旅行会社」でツアー企画をプレゼンしました。ゼミ生は幅広い知識とともにコミュニケーション力を身につけて、卒業後は日本語教師に限らず活躍の場を広げています。企業の海外進出や外国人看護師・介護福祉士の受け入れ、そしてオリンピック開催などを背景に世界中で外国人の日本語学習熱は高まっています。政府が派遣する「日本語パートナーズ」※にチャレンジする学生もいます。

※ASEAN諸国の教育機関で日本語教師の授業アシスタントや日本文化の紹介をする目的で2020年までに3,000人以上を派遣するプログラム。派遣期間は約半年から1年未満。



[経済学部]
後藤 和子 教授
専門は「文化経済学」
「財政学」

文化と経済には、
深い関係があるんだ。



「クリエイティブ産業の経済学」
「文化政策の経済学」(訳)

2 深みのある
観光へ

2014年秋に、奈良でOECD(経済協力開発機構)や観光庁も参加して国際観光統計ウィークが開催されました。日本も2020年東京オリンピックに向けてインバウンド、つまり外国人観光客の増加に力を入れています。観光客を増やし、それを地域活性化につなげるにはどうしたらいいのでしょうか?こうした疑問も優れた実践から学ぶだけでなく、ビッグデータや位置情報等を使って分析できるようになりました。世界が目目しているのは付加価値が高く地域を豊かにできる観光のあり方です。ちょっと難しく思うかもしれませんが、大学で一緒に学びませんか。

1 クールジャパンと
文化産業

今、政府が強力に進めている「クールジャパン」戦略の中心に、マンガやアニメ、ゲームがあります。これらは一昔前なら子どもの遊びとしか受け取られていませんでしたが、今では強力な輸出産業と見なされています。音楽や工芸、デザインやファッション、そして和食も文化産業として経済の重要な要素になっています。こうした産業の分析も経済学を応用してできます。



[経営学部]
榎谷 正人 教授
専門は「経営学」
「経営戦略論」

企業によって
業績に差が出るのは
なぜ?



「経営理念の機能」

1 経営学は
身近な生活の場面から

主な研究テーマは、同じ業種の企業であっても、なぜ業績に差が出るのか。企業が持続的に成長するための要因を解明することです。経営学の研究テーマは、身近な生活の場面から学べます。例えば、皆さんがよく利用するコンビニやショップなどで、顧客の立場からも企業の戦略と組織のマネジメントについて観察できます。マネジメントをひとことで表現すると、限られた経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報、時間)を有効に活用することです。経営学という経験科学を理論化することは困難な作業。数式や統計データだけで近未来を正確に予測したり、また、現象を観察しただけで現実を把握することは十分ではありません。そのため、経営学の隣接研究である、経済学、社会学、法学、政治学、心理学、文学、歴史学、哲学、そして自然科学に関する知識なども同時に修得することが極めて重要です。

2 経営学を学んで
社会で輝こう

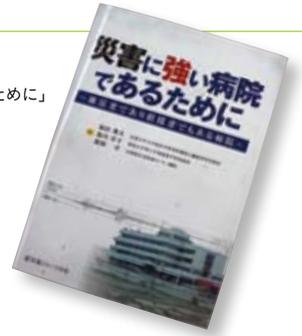
経営学のゼミでは、次のような興味関心についてさらに深く研究します。お客様のお役に立つことは?誰が会社を動かしているの?各社はどのような方針で経営しているの?どんな仕組みで動いているの?他の会社との協力はどのようにしているの?仕事の分担方法はどのようになっているの?社員・パート・アルバイトはなぜよく働くの?どんな報酬になっているの?会社の利益や価値はどうやって測るの?などです。経営学研究は、現実の出来事を理論化する果てしない探究。皆さんが社会で活躍する方向が示され、さらに皆さんが社会で輝くステージが拓かれてくることでしょう。



[理工学部建築学科]
池内 淳子 准教授
専門は「建築防災学」

自分と家族を守る、
人と人が支えあう防災
ネットワークを作るんだ。

「災害に強い病院であるために」
6、7、10章他担当



Point 2 命をつなぐため、
ヘルスリテラシー向上と
医療防災ネットワーク
構築をめざす

新たな試みで、災害後に住民が自ら健康管理できる活動と、被災者を支援する医薬品供給ネットワークの構築をしています。仕組みは「被災者が必要な医薬品を自分たちでリストアップ→自治体で集約→病院や薬局で供給可能量を把握→被災者に届ける」というもの。それは「いつもの薬」の写真を記録しておくことから始まります。阪神・淡路大震災では災害医療体制が十分でなく多くの方が命を失い、東日本大震災では助かった人の多くが「白くて小さくて丸い薬」を求め医薬品供給が混乱しました。この2つの教訓を忘れず、次の災害に立ち向かわなければなりません。

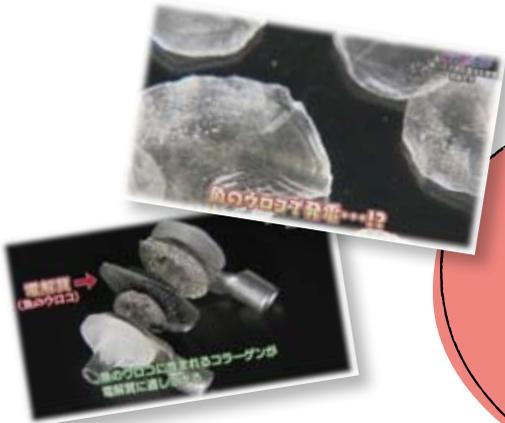
Point 1 若い学生の力を借りる
地域と大学の防災プログラム

阪神・淡路大震災後、病院防災の取り組みに関わりました。建築分野の研究者としてとにかくできることをやってみた毎日。でも結局、災害時に備えるのは被災者自身なんです。私一人がいくら動いても変わらない。そこで学生と一緒に地域の防災活動を始めました。大学の帰宅支援対策や地域の避難所運営訓練…どれも私一人の成果ではありません。学生にはプロジェクトの道筋まで説明してあとは学ぶ姿勢に任せます。やってくれますよ。生き生きと、一生懸命に。そんな学生につられて地域の皆さんも自ら動く。それが「人と人が支えあう防災ネットワーク」です。



[理工学部生命科学科]
松尾 康光 教授
専門は
「共生機能材料」

うろこで発電!?
まさに、目からウロコ。



うろこを利用したバイオ燃料電池の
発電の様子

Point 1 生体機構は
最先端科学の宝庫だ

「多種多様な生物の仕組みや機能を人工的に作り出すのはまだまだ難しいけれど、生物の仕組みを解き明かし、生体機構を有効に利用することもできるはず。この発想、例えば「生物が養分摂取する方法を利用する」、これがうろこを使った燃料電池へとつながります。生物の持つ多種多様な機能を学び、生物の起源やその仕組みを知るとともに、これを新しい分野へつなげていく。これも生命科学の大切な一つです。

Point 2 生物・環境・エネルギーをぐるりと
つなげた最先端研究に未来がある

地球環境の将来を考えると、「環境にやさしいエネルギーがあればいいのに」「生物からエネルギーを取り出せるといいな」と思いませんか？自然界と共存できる未来の技術は、生物・環境・エネルギーをぐるりとつなげた最先端研究から生まれます。うろこを電解質にしたバイオ燃料電池は、うろこ(主成分:コラーゲン)の機能をエネルギー創生に利用した、自然と調和できる新技術です。この研究が進めば、体内のタンパク質の1/3を占めるコラーゲンを利用して、体内電池へ発展させるのも夢ではありません。



[薬学部]

奈邊 健 教授
専門は「免疫薬理学」

免疫は
フクザツだ。
だから、オモシロイ。



Point 1 アトピー疾患は免疫の
頑張り過ぎが原因なんだ

免疫。これは外から入ってくるいろんな病原体や体内で作られるガン細胞などの有害なものを攻撃し、私たちが病気から守ってくれる重要な存在。でも、ときに体に付着した花粉やほこりなどを過剰に排除しようとして、体を攻撃してしまう。それが花粉症、ぜんそくなどのアトピー疾患として体に現れてしまうのです。これらアトピー疾患はつまり、免疫が頑張り過ぎたことが主な原因なんです。



Point 2 免疫を抑える
免疫があるの？

免疫には少なくとも2種類あって、自動車に例えると、「アクセルの免疫」と「ブレーキの免疫」。花粉やほこりを排除するために体に対してまで攻撃を加える「アクセルの免疫」。その活動を抑制する「ブレーキの免疫」(Regulatory T細胞が関わります)を活性化させて、アトピー疾患を和らげる研究をしています。「免疫によって起こるアトピー疾患を、免疫を使って治療する」。これまでの対症療法を超えた治療方法の確立を目指しています。

薬学部



「子どもの保健 理論と実践」
第4章 第1・2節担当

[看護学部]

赤井 由紀子 教授
専門は「母性看護学」
「助産学」

「睡眠」や「妊娠」を
知ることは女性の健康を
支える学びなんだ。

Point 1 日本は世界トップクラスの
眠らない国。女性の健康を
支えるため、「睡眠」も研究

各国のデータを比較すると、日本人の睡眠時間の短さは世界トップクラス。これは思いがけない面から女性の健康に影響を及ぼしています。「ん?!女性だけ?」と思われるかもしれませんが。目を向けているのは「看護」「介護」「育児」との関わりです。これらに携わるのは圧倒的に女性が多いですよね。一般的に睡眠時間が短い人は起きている時間が長い分、お世話するほうの負担も大きくなると言えます。ならば相手の「睡眠」を知ることでお世話の際の「力」を使い分けられることができるし、「睡眠」を通して相手によりよい生活習慣を啓発することも可能になるのです。

Point 2 高校生に質問。
「今、妊娠したらどうする?」

高校生2,000人に調査しました。「今、妊娠したら—」結果は「産む」が2割、「産まない」が1割、そして「分からない」が7割です。この数をどう捉えますか? 一方、高校生の性交経験者は増加の傾向にあります。本学では高校1年生を対象に「思春期教室(性教育)」をしています。私たちが知識を伝えるだけではダメなんですね。考えてディスカッションしてもらうことこそが重要です。一生に関わる問題。思春期に「自分のこととしてきちんと考えてみる」—これって普通に大事なことだけど、「母性看護学」という学びにも通じてくるのです。



看護学部

摂南大学の特色ある取り組み

Exchange Program

交流事業

国際交流・学術交流

インドネシア・ストモ博士大と 大学間協定を締結

インドネシア・ストモ博士大と
本学は昨年10月31日、複数の学術
分野での共同研究および共同調査、
さらに教育、社会貢献の分野で関係
を深めることを目的に大学間協定
を締結しました。

同大学とは2009年2月、本
学外国語学部が海外留学・海外実
習の派遣先として協定を結んでい



ストモ博士大関係者を歓迎する本学学生たち



茶道部がお茶とお菓子でおもてなし

ますが、今回の大学間協定でさらに
連携を強め、新たな取り組みを進め
ることになります。

異文化交流を通じて国際的 な視野を持つ

本学には2015年1月現在、
中国、韓国、トンガ、フィジー、ベトナ
ム、スペインから41人の留学生在が在
籍しています。内訳には韓国の協定
大学から約1年間派遣されてきて
いる短期留学生4人も含まれてい
ます。すでに帰国しましたが、タイ
の協定大学からも毎春10人の研修
生が約3週間、日本語研修のために
来日します。

国際交流センターでは、留学生

がさまざまな活動を通して日本の
文化を体験し、日本人と交流する
機会を提供しています。それは留
学生のためだけではなく、彼らとの
交流を通じて周囲の学生にも「異
文化へ関心を持ち、広い世界観で
社会や文化を見つめ直して国際理
解を深める機会」となることを望
んでいることです。その試みの一つと
して、本学には留学生サポーターと
いう制度があり、留学生との活動
を通じて日本にいながら国際性を
養う機会を提供しています。現在
41人の学生が登録しており、その
活動は主に短期留学生の生活支援
(キャンパスや寮周辺の案内、各種
手続きの補助)、校外研修の引率
補助、さらに留学生のために交流
会を企画するなど多岐にわたる

生も多くなります。
同センターでは、今後も、このよう
な国境を超えた継続可能な学生
間交流を通して、本学の学生が異
文化理解や国際交流に魅力を感じ、
国際的な視野を育む機会を提
供していきます。

国際交流センター 今後の主な予定	
3月1日～14日	台湾・淡江大学 中国語研修プログラム
4月1日	韓国・大田大学校 短期留学生受入れ
4月中旬～5月初旬	タイ・泰日工業大学研修生受入れ
4月20日～24日	夏期海外派遣プログラム募集ガイダンス
5月上旬	プログラム募集締切
6月上旬～	プログラム参加学生事前ガイダンス
8月中旬～	参加学生出発
9月末～	成果報告会

大阪市立住まいのミュージアムと連携協定を締結 大学との協定は本学が初!

大阪市立住まいのミュージアム
(大阪くらしの今昔館)と本学は
昨年12月11日、相互に協力し活力
ある地域社会の創造と人材育成お

よび学術文化の向上発展に貢献す
ることを目的に包括連携協定を締
結しました。

同ミュージアムとは本学外国語
学部にて学芸員課程を設置した
2004年以来、博物館科目を担
当する非常勤講師の派遣や博物館
実習の受け入れを依頼するほか、講
演会・展示会を共催するなどこれま
でも協力関係を築いてきました。今
回の協定締結により、現在注目を集
める「大学博物館」としての機能や
サポートも可能となります。また、
同ミュージアムにとっても大学の学術
研究成果を取り入れることができ、
同時に若者の発想や行動力をもと
にした文化活動の活性化に期待が
寄せられます。



協定書に署名後、握手を交わす谷館長(左)と今井学長
谷館長は本学の博物館科目担当教員としてもおなじみです。

地域交流

和歌山県の2町と
「大学のふるさと」協定を
締結

和歌山県すさみ町、由良町と本学は昨年10月8日、同県の仁坂吉伸知事立ち会いのもと「大学のふるさと」協定を締結しました。本制度は人口減少などの進行により地域活力が低下している過疎地域で、都市部の大学と連携して

地域が抱える課題解決に向けた協働活動を行い、継続的に交流する取り組みで同県が推進。本学とすさみ町の活動が本制度のモデルとなっており、由良町とも協定を締結しました。

すさみ町とは2010年に包括連携協定を締結、高齢者の見守り活動、地域伝統行事の継承、防災活動などを展開中です。由良町とは住民との交流として「健康づくりのサポート」や「菓草・地域特産の価値向上」のための産業振興を予定しています。



知事室にて知事、両町長とともに協定書に今井学長がサイン

「かたのキャンパス」の運営
に学生が参加

「さあ、アートのチカラで交野の自然を見直そう!」をテーマに、連携協定先の交野市にある大阪市立大学理学部附属植物園で昨年12月23日、かたのキャンパス2014「森のクリスマスパーティー」が盛大に開催されました。

同事業は本学も共催参加し、植物園を発表の場とした「キャンパス」に見立て、交野の自然を見直すもので今回2回目。

会場の「おりひめ大学ブース」では、本学の※2つのPBLプロジェクト学生が、交野市が売り出し中である特産品「ほうれんそう」を使ったオリジナルカレー作りなどに挑戦しました。

※①交野市の活性化
②北河内における近郊ツーリズムの開発「交野のみ」を関西のふるさとにしよう



手作りの窯でカレーのナンを焼き上げる学生と市民

環境保全

Environmental Protection

ISO14001の
認証を取得しました
私立の総合大学では関西初!

2015年1月9日に環境に関する国際的標準規格である「ISO14001」の認証を取得しました。

本学は、学生・教職員がSmart Campusづくりに取り組むことを通じて、持続可能な社会の実現に貢献し、大学の社会的責任を果たすため、Smart Campus推進プロジェクトを立ち上げ、2013年9月に「摂南大学環境方針」を定めました。

2014年5月には、環境マネジメントシステムに関する基本的事項を定めた環境マニュアルを制定し、各部署で設定した環境目的の達成に向けてその実施計画を進めてきました。

その後、認証機関(一般財団法人日本品質保証機構「JQA」)による第一段階審査(同年10月)および第二段階審査(同年12月)を経てこのたび認証を取得しました。

大学におけるISO14001認証取得の意義について、企業では、生産工程において排出される廃棄物が与えるマイナスマン、すなわち環境負荷の低減がその目的となつていますが、大学では環境負荷に相



JQA-EM7131

当する教育・研究などに基づく廃棄物は量的に限られており、「紙ゴミ・電気」使用量の低減はもろろんのこと、教育機関として環境教育カリキュラムの充実、環境問題に関する研究の推進、学生の環境活動の支援、学内の美化など、強調できるプログラムを前面に押し出し、「環境マインド」を持つ人材の育成を重視すべきであると考えています。

学生の就職先となる企業の多くは、ISO14001を取得しています。本学は、学生時代に環境マネジメントに関する知識の理解や取り組みを経験させることにより、卒業後も持続可能な社会の実現に貢献できる人材となることを期待しています。

ISO14001の認証取得はSmart Campusづくりのゴールではありません。これから積極的に環境に配慮した教育研究活動を行って社会的責任の達成をアピールし、より一層本学の社会的イメージや信用度の向上を目指していくためのスタートだと考えています。

枚方キャンパスで学生
が地域清掃活動

枚方キャンパスにある文化会「ボランティア部」および「ふりふり準備会」の環境美化活動「枚方市アダプトプログラム」に参加し、昨年10月から2回(第2・第4金曜日)、枚方キャンパス周辺の通学路の清掃を行っています。

このアダプトプログラムは、枚方市と地元ボランティア団体とのパートナーシップにより、市が管理する道路や公園など公共の場所の美化を継続的に実施していくというもので、賛同した部員たちが「枚方キャンパス周辺をきれいにすることで大学近隣の住民の方々に気持ちよく生活してもらいたい。学生に気持ちよくキャンパスライフを過ごしてもらいたい」という思いで参加しています。

毎回10人前後の部員たちが約1時間半程度清掃活動を行い、持っていった袋にゴミをいっばいにして帰ってきます。最近では、住民の方から「ご苦労さま」と声をかけられるようになったそうです。

これからも学生の地域貢献活動を応援していきます。



枚方キャンパス周辺での清掃活動に参加する「ボランティア部」および「ふりふり準備会」

学生生活

インターンシップ

「平成26年度インターンシップ全体報告会」を開催しました！



会場は満員。体験発表や講演を熱心に聴く学生たち

本学のインターンシップ教育は、学生が実際の仕事現場の一員として業務を担当することを通じて、社会人の方がどのような考え方で働いているのか(特に、①社会人の方が広い社会全体の中での役割を担って働いていること②他者への貢献を仕事の成果と受け止めていること③仕事に責任感と充実感を感じていること)を発見するとともに、職業選択を社会人となるための重要な一歩と実感し、真剣に取り組むきっかけとすることを目的としています。

今年度は2015人の学生が夏期休業期間を利用してインターンシップに参加しました。(受け入れ企業…75社)

体験発表を通して実習での学びや成長などを共有し、これからの就職活動や大学生活に取り入れ、大いに役立てることを目的に、「平成26年度インターンシップ全体報告会」を昨

年11月8日、寝屋川キャンパスで開催しました。

第一部では、インターンシップに参加した学生から選ばされた学生6組が体験発表をしました。学生、教職員のほか実習受け入れ企業や団体の方が聴講しました。聴講者からは、発表内容に関する質疑や実体験に基づいたアドバイスなどがあり、充実した内容となりました。

第二部では、実習受け入れ先でもある、近畿日本ツーリスト株式会社関西国際交流センター支店長の田川清広氏に「世界で生きる人になる！」と題して講演いただきました。

変化の激しい世界で生きていくためには、さまざまな物事に対して自分ができるように考え、行動するのが大切だという話がありました。また、他人や仕事など、自らを取り巻く環境に「合う」「合わない」ということを考えるのではなく、自分がどのように合わせるかを考え、自らの意志で選択することが人生を豊かに過ごすきっかけになる、などの話もいただきました。これから社会に踏み出そうとする学生たちにとって、自分の人生を主体的に考えるための貴重な機会となったようでした。

全体報告会に参加していただいた実習受け入れ企業のコメント

- 職業に対する学生の意識が高いと感じました。
- 志の高さや、プレゼンテーションでの説明能力の高さに感動しました。
- 発表された方々はしっかりされていて、どこの企業でも入社してほしい人材ではないかと思えます。

全体報告会に参加した学生の感想

- 一人の欠点を皆で補うことの大切さ、仕事の大変さ、やりがいを感じる事ができる発表でした。
- グループのチームワークの重要性を知ることができました。
- インターンシップ中に気付いた問題点を改善できており、良いなと思いました。



実習先のユニホームを着て発表に臨む学生

交流会・交流戦・大学祭

「常翔学園3大学」
課外活動団体交流会・
交流戦を開催!

常翔学園が設置する3大学(摂南大学・大阪工業大学・広島国際大学)の課外活動団体による文化交流交流会・体育会交流戦を実施しました。

体育会は、昨年6月7日・8日に大阪工業大学大宮校方キャンパスで実施し、各試合会場で熱戦を繰り広げました。

文化会は、昨年11月22日・23日に大阪工業大学大宮キャンパスで音楽演奏やパフォーマンスを繰り広げ、会



文化交流会後の記念撮影。深い絆で結ばれた学生たち

場を大いに盛り上げました。会場ロビーでは、芸術系クラブによる作品展示を行い、日頃の活動成果を披露しました。

摂南大学からは文化会・体育会計32団体、412人(3大学合計90団体、872人)が参加し、多くの学生が交流する有意義な機会となりました。

2014年度
大学祭にぎわう!!

第40回摂大祭 寝屋川キャンパス

10月11日(土)・12日(日)

テーマ「Pledge」

第3回摂友祭 枚方キャンパス

10月12日(日)

テーマ「SWS (START YOUR STORY)」



摂大祭にセツレンジャーが登場!

学生と教職員の「大イベント第40回摂大祭を10月11日・12日(寝屋川キャンパス)に、第3回摂友祭を10月12日(枚方キャンパス)にそれぞれ開催しました。残念ながら台風の影響により、10月13日に予定していた摂大祭3日目は中止しましたが、学生、卒業生、教職員、保護者、地域の方々と多数の来場者が集う活気に満ちた祭典となりました。

摂大祭では、アカデミック企画として寝屋川キャンパス全学部と地域連携センターがパネル展示会を開催したほか、教務部主催の「PBL2014中間報告会」、スキー部OBの協力による「救急講習会」を実施しました。

摂南大学創立40周年記念事業の一環である学生企画イベントとして「ぶちクリン作戦『摂大』」を実施し、会場内や会場周辺の清掃活動を行うことにより、摂南大学が目指す「Smart Campus」を推進しました。

恒例となった「Ms. & Mr. UNIVERSITY of SETSUNAN COLLECTION(セツン)」ほか、ミニ蒸気機関車の試乗会、カラオケ大会、ピング大会、ソフトボール大会などの多彩なイベントに加え、工夫を凝らした模擬店により会場は熱気に包まれました。

摂友祭は、連携病院など医療関係機関等との協力により医療色の濃いものとなりました。枚方公済病院によ

2014年度摂大文化大賞決定!

図書館では「摂大文化大賞」を設け、学生の文化的創作活動を奨励しています。今年度の募集対象は多様な表現作品(未発表のオリジナルなものでテーマは自由)とし、①文芸、②美術・工芸、③写真、④その他の4部門に分けて10月から11月中旬まで募集を行いました。募集締め切り後、約2週間の展示(WEB含む)を行い、この間学生、教職員による投票を行いました。最終的には、この投票結果に基づき、図書館運営委員会による選定を経て、受賞者を決定しました。選考の結果、文化大賞は宗教や音楽、美術用語で章立てした不思議なサイエンス・ファンタジーを描いた「アンドロイドのためのレクイエム」(小説、法律学科2年 中條宏樹さん)に決定しました。そのほか各部門それぞれ優秀賞と準優秀賞作品、さらに審査員特別賞2作品、合計10作品と決定し、12月17日には図書館本館1Fロビーにおいて表彰式を行い、図書館長から受賞者に賞状と賞品が送られました。



表彰式後の記念撮影(前列右4番目が文化大賞を受賞した中條宏樹さん)



「心肺蘇生法講習会」は約50人が受講。枚方市保健所協力のもと実施した「HIV予防啓発活動」では前年度を上回る約2000人の来場がありました。また、「小児がん専門治療施設(チャイルド・ケモハウス)の紹介と募金活動」では、来場者の方から温かいお心遣いを頂戴しました。

さらに大阪府赤十字血液センターによる「学内献血」には48人から協力をいただき、毎年恒例の「健康フォーラム」にも多数の参加がありました。連携機関ならびに皆さまのご協力のおかげで、盛況のうちに閉会することができました。

また、寝屋川、枚方両キャンパスの連携を図るためシャトルバスを運行し、来場者や学生の交流を促進しました。

この大学祭は、学生たちにとってこれからの学生生活や将来への貴重な経験になりました。

学部・学生
トピックス

Topics

経済学部がゼミ活動
成果発表会を開催

1月24日、経済学部ゼミ室・会議室で学部恒例行事「ゼミ対抗プレゼン大会」を開催しました。これは、1〜3年次の各ゼミから有志を募り、日頃の研究内容を披露し、論理性着眼点・プレゼン力などを競う大会で、今年で4回目を迎えました。今回は昨年を大幅に上回る22チームが参加し、3つの会場に分かれて日頃の研究成果を報告しました。



全22チームの有志によるゼミ対抗プレゼン大会

地方創生から日本の通商政策に関するものまで幅広いテーマについて、また東北の被災地域におけるボランティア活動から、オリックス・パファローズの経済効果に関するアンケート調査まで多様な議論が展開されました。その結果、各会場の中から最優秀賞と優秀賞が授与されました。参加した学生は、「他のゼミがどのような研究をしているのかが分

かり、大変参考になった」「来年は、ぜひ受賞できるように勉強を続けたい」など、大変刺激を受けた様子でした。大会終了後、懇親会が開かれ、発表の工夫や日頃の勉強法などについて話題が尽きず、盛会のうちには本大会を終えることができ

機械工学科が
スターリング
テクノラリーに参戦

機械工学科では「ものづくり」に取り組んだ成果を発表する場として、「スターリングテクノラリー」に毎年参加しています。この競技会は自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競うもので、昨年11月に第18回大会が埼玉県で開催されました。6つの競技クラスに207のチームが各地から参加する中、摂南大学から2チームが参加しました。工学部テクノセンターの工作機械

を駆使して部品を加工し、装置を組み上げ、競技に臨みました。今回は、遠隔操縦でスターリングエンジンカーを走行させるRCクラスと単三乾電池2本を電源とするスターリングクーラで温度降下を競うSC3クラスに参戦。入賞は逃しましたが、実践的な「ものづくり」に挑戦することができました。

スターリングクーラ
(SC3クラス)

スターリングエンジンカー (RCクラス)

摂南大学土木会
創立50周年記念祝賀会を
開催

都市環境工学科と前身学科である土木工学科、都市環境システム工学科の卒業生で組織する「摂南大学土木会」の創立50周年記念祝賀会が昨年11月29日、寝屋川キャンパスにて開催されました。

久禮哲郎理事長、今井光規学長、森脇俊道理工学科部長らが出席する中、吹奏楽部の演奏が盛大にスタート。新井栄作会長（工学部土木工学科1985年卒）のあいさつがあり、代表幹事の中土井敬史氏（同

1995年卒）が司会を務めました。ご来賓の先生方や各卒業生会代表から土木会に対する祝辞と激励の言葉を頂戴し、「写真で振り返る50年」と題した動画を鑑賞した後、歴代会長に感謝状が送られました。終始和やかな雰囲気の中、今後の発展と再会を誓い合いながら、都市環境工学科の元教員で名誉教授の澤井健二先生の万歳三唱をもって閉会しました。



摂南大学土木会創立50周年記念祝賀会

薬学部附属薬用植物園の
温室を建て替え

薬学部附属薬用植物園の温室は、昨年5月から建て替え工事を行い、同年10月末に竣工しました。

温室は全面ガラス張りで間口が約9m、奥行き約20m、高さが約5.5mの大きさです。温室では亜熱帯地域の薬用植物や有用植物のシナニッケイ、バナナ、イトバショウ、キャッサバ、ストロファンツ、シナジンコウ、ヒスイカズラや外国産のウマノスズクサ科などを栽培していることから、暖房装置、湿度センサーやタイマーによる自動散水システムを備え、室内の植物にとって最適な生育環境を提供する設備を整備しています。さらに、温室の建て替えに合わせ、薬用植物園で使う用具の倉庫の設置や道路を舗装しアクセスしやすくするなど、温室周辺の整備も行いました。

摂南大学薬学部附属薬用植物園について

植物園内は温室のある「標本園」と「樹木園」に分かれており、約1万㎡の広大な敷地に暖温帯に生育する薬草など約1,500種類の植物を栽培しています。関西地区の薬学系大学では規模の大きい薬用植物園です。



温室外観

陸上競技部 山方さんが
棒高跳で全国制覇！

陸上競技部の山方諒平さん（経営学科4年）が、昨年9月5日〜7日に埼玉県で行われた「天皇賜盃第83回日本学生陸上競技対校選手権大会男子棒高跳の部」に出場し、自己ベストタイ記録の5m30cmで優勝しました。全国大会での優勝は同部史上初の快挙です。

陸上競技部は12月19日に祝賀会を開催し、OBをはじめ、学内外から多くの関係者が山方さんの活躍を祝いました。

山方さんは卒業後大学院に進学し、競技を続けながら体育の教員免許取得を目指します。「将来は体育教師になるか、摂南大学に戻り指導者として全国レベルで戦える選手を育てたいです。また、選手としてアジア大会などの国際大会に日本代表として出場したいです」と目標を語ってくれました。

今後の活躍にご期待ください!!



棒高跳で
全国優勝した
山方さん

経営学部生が
技術士第一次試験に合格

難関の国家資格として理工系の学生にはおなじみの「技術士」。その情報工学部門の第一次試験に経営情報学科3年の大岩稔生さんが見事合格しました。文系からのチャレンジと合格はさらに狭き門ですが「過去問を解いてみたら手ごたえがありました」と大岩さん。受験のきっかけは昨年6月、ゼミ担当の久保准教授と一緒に本学資格サポートセンターを訪ね、いろんな資格と試験日程を調べたことでした。直近に迫っていた締め切りを前にこの資格について知り、とりあえず申し込んでから勉強したというので驚きです。「得意な情報分野の知識が生かされました」と語ってくれました。



合格証を手にする大岩さん

経営学部1年次生が
税理士試験科目に合格

経営学科1年の辻有将さんが、難関国家資格の一つ「税理士」試験を受け、必修科目の「簿記論」1科目に合格しました。辻さんは高校3年時に取得した日商簿記1級を

学部・学生トピックス

同試験の受験資格としてチャレンジしています。「税理士試験は最終的に5科目の合格が必要ですが、科目別の合格制が採用されているので自分のペースで勉強しやすい。大学3年次以上なら受験資格があるのでお勧めです」とメッセージを送ってくれました。

今年の「福男」は摂大生！

1月10日、新年恒例の西宮神社「開門神事福男選び」で、経営情報学科1年の志和智徳さんが見事今年の「福男」に輝きました。

この行事は、西宮えびす独自の伝統行事として江戸時代が始まったといわれる「開門神事」であり、本殿に早く到着した順に1番から3番までが、その年の「福男」として認定されます。今年は約5000人が参加しました。

志和さんには西宮神社から福を呼び込む認定証・御神像・副賞と特別の法被が授与されました。志和さんは「初参加だったが、体を冷やさないように暖かい服装で待機したのが功を奏したと思う。あつという間の230メートル。改めて走る楽しさを感じました」とコメントを寄せました。



「一番福」の志和さん
陸上競技部所属（種目は100m）



堂々としたプレゼンテーションを披露した
太田さん（左）と主藤さん（右）

寝屋川市ビジネスコンで
経営学部学生メンバーが
初代グランプリを受賞！

寝屋川市が初めて企画した「工業」「商業」「農業」「協働」4部門の学生ベンチャービジネスコンテストで、「地元農産物を使った福神漬けを市の特産品に」というアイデアを発表した経営情報学科3年の太田順也さんら4人が、130件の応募の中で、1次、2次審査を経て「農業部門賞」を受賞しました。1月28日には同市アルカスホールで、各部門賞受賞の4組による発表会が行われ、最終審査の結果、見事初代グランプリの座を射止めました。

太田さんらはカレーに添えるだけでなく、ご飯のおかずにもなる福神漬けを考案し、焼き肉味やワインみそ味を作ってコンテストに臨みました。審査では、地域性を一番重視している点が高く評価されています。市からは実現に向けて最大50万円の補助金が出されるなど、今後の活動にさらに注目が集まります。

外国語学部生がワシントン大「優秀学生」に選出

外国語学科3年の松吉翔也さんと川口佳苗さんは、2013年から2014年にかけて約1年間アメリカ合衆国のワシントン大学に留学していました。本学と提携しているワシントン大学は、アメリカ合衆国北西部シアトルに位置する総合大学で、大学ランキングにおいてトップレベルのつに数えられ、これまでノーベル賞受賞者を6人も輩出しています。同大学には世界各国から留学生が常時何百人も集まり、ともに英語を学んでいます。当時からわずかに数名という関門をクリアし、松吉さんと川口さんは「優秀な学生(Outstanding Student)」に選出されました。

さらに松吉さんは、「Sample a class」という制度を利用してさまざまな学部の授業(言語学、言語人類学、犯罪学、経済学、生物学、古代ギリシア文化など)を聴講していました。そして、授業内容をまとめたものをワシントン大学のブログに掲載してきたことなどでさらに高い評価を受け、修了式では学生代表のスピーチを行いました。(スピーチの内容は本学HPに掲載)



松吉さん



川口さん（左）

創立 40 周年記念事業

1 理工学部・経済学部 - 2014.10.15 -

国際セミナー「ハーバード大学とアメリカの高等教育」

理工学部と経済学部は、ハーバード大学の専門大学院で財務・人事管理の要職を歴任されたジュアン・カルロス・ヒンカビエ氏を招き、「ハーバード大学とアメリカの高等教育」を講演テーマに国際セミナーを開催しました。

ハーバード大学の設立は1636年。アメリカで最も歴史が長く、各分野で世界を牽引する教育機関最高峰の大学として知られています。ヒンカビエ氏は冒頭、ハーバード大学とアメリカの高等教育機関の変遷を時代別に紹介し、その後は入試状況、学費、奨学金、学生生活、就職実績や問題点、今後の展望など大学のさまざまな側面についてグラフや写真とともにエピソードも交えて具体的に示してくれました。

講演後は、聴講した学生、教員から質問が相次ぎ、活発な国際交流の場となりました。



講演中のヒンカビエ氏（壇上）と通訳を担当する理工学部諏訪教授（右）

2 大学院経済経営学研究科 - 2014.10.27 -

国際セミナー「グローバル化と地域統合が進行する世界経済における諸問題」

経済経営学研究科が、海外から研究者6人を招聘し、「グローバル化と地域統合が進行する世界経済における諸問題」と題した国際セミナーを開催しました。

初めに、経済学部の久保広正教授が「岐路に立つ世界経済（World Economy at a Crossroad）」と題し、基調講演をしました。欧米やアジアなどの主要国に潜むさまざまなリスクを、各国の経済指標を図示しながら紹介。また、日本の各種経済・財政政策により企業マイン

ドが高水準で推移している一方、外的リスクによる先行きの不透明性を説明しました。次に、パリ第13大学のバンジャマン・コリア教授ほか、招聘した5人の研究者が研究発表を行いました（※発表内容等は記事下部に記載）。研究発表後は質疑応答を行うなど、活発な議論が交わされました。

セミナー終了後は親睦会を開催し、会食をともにしながら交流を深めました。



海外からの研究発表者、本学教員、聴講者とともに記念撮影

発表①：「ユーロ圏の危機再考」

バンジャマン・コリア氏【パリ第13大学教授】（フランス）

発表②：「開発主義国家におけるケインズ主義：中国の経済危機対応からの教訓」

ヤン・ジアン氏【デンマーク国際研究所上級研究員】（デンマーク）

発表③：「インド製造業の成長セクターと雇用のパターン」

ラフル・メノン氏【ジャワハルラル・ネルー大学研究員】（インド）

発表④：「農業における女性について見たジェンダー問題のミクロ研究」

ムリ・ヴァラブレティ氏【カーカティヤ大学PDフェロー】（インド）

発表⑤：「東アジアの地域主義の中で米国主導TPPがASEANおよび中国にとって持つ意味」

モハメッド・アスラム氏【マラヤ大学上級講師】（マレーシア）

発表⑥：「ハラレ（首都）における汚水のマネジメント：インフォメーション・ギャップ」

マーク・ニヤンドロ氏【ジンバブエ大学上級講師】（ジンバブエ）

3

外国語学部 - 2014.11.18 -

英語落語公演会「英語落語で世界を笑わす!—日本文化を英語で伝える」

本学創立40周年と外国語学部英語教育フォーラム10周年を記念して、落語家の桂かい枝氏を招き、英語落語の公演会「英語落語で世界を笑わす!—日本文化を英語で伝える」を開催しました。会場には学内外から300人を超える観客が集まり、一同爆笑しながら、落語のみならず、海外諸国の文化と日本文化の相違についても学びました。

落語をまったく知らない人にも楽しんでもらえるように企画された導入部分から観客は同氏の話に引き込まれ、英語を交えた笑い話の後、自身の海外での体験談がスライド映写とともに語られました。2008年に文化庁文化交流使としてアメリカ33都市を訪れたときのハプニングに満ちた体験の連続に会場は笑いに包まれ、アメリカツアーやアメリカでのテレビ出演の話に加え、サウジアラビア等諸国での体験談からは異文化理解を深めることもできました。

観客の反応を見ながら、日本語と英語を交えた落語や小噺が披露され、最後に、英語は「押す」文化であることが伝えられました。日本で10年間英語落語を行ってからアメリカに渡ったとき、「お前は英語に自信がないのか」とまず言われ、日本の「間」で一步「引く」ように英語を話したのではダメだ、ということを実感したというくだりには一同うなずき

ながら聞き入っていました。上方と江戸の文化的差異にはじまり、日本語と英語の言語的・文化的差異に終わった本公演は、笑い拍手のうちに幕を閉じました。



落語を披露するとともに日本とアメリカの聴衆の異なる反応を紹介する桂かい枝氏

4

看護学部 - 2014.11.22 -

シンポジウム「認知症患者とその家族を支える看護を考える」

講師に城戸真亜子氏を招く

看護学部は大学創立40周年を記念し、「認知症患者とその家族を支える看護を考える」をテーマにしたシンポジウム(後援:一般社団法人枚方市医師会、公益社団法人大阪府看護協会、一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会)を開催しました。会場の大阪市中央公会堂には、一般からの申し込み者のほか本学看護学部生らも含め、約550人の来場がありました。

第1部 講演会

第1部では、タレント・洋画家として幅広く活躍する城戸真亜子氏が「心をつなぐ介護日記」と題した講演をしました。「(認知症の)母に言葉をかけてもすぐに忘れるが、文字に書いたものを見せると納得してくれた。文字の力を活用し、トイレや自分の部屋など各所に"敬語"を使って貼紙をしたところ『親切ね、優しいわね』と受け入れてくれている。認知症の人は常に不安を感じているので、安心感を与えることが安らかな毎日を過ごせることにもつながった」と語り、「記憶に残らなくても文字にしておけばいつでも読み返してもらえると」の思いで綴る絵日記がノート10冊以上になったと紹介しました。また、一人で抱え込みがちになってしまう家族介護の現状に、「地域や社会みんなで見守るようになれば」とメッセージを送りました。

第2部 パネルディスカッション

第2部では「認知症患者とその家族を支える看護を考える」をテーマにパネルディスカッションが行われました。本学看護学部の竹中泉准教授がコーディネーターを務め、パネリストとして星ヶ丘医療センター認知症看護認定看護師の中野加代子氏、後閑容子看護学部長、荻田喜代一薬学部長、眞野祥子看護学部准教授が意見を述べました。



家族介護について講演する城戸真亜子氏

ブレイクタイム 講話



認知症ケアへの取り組みについて語る
吉川祥子氏
(薬学部卒業生)

本学薬学部を2005年3月に卒業し、エーザイ株式会社にMR(医薬情報担当者)として勤務する吉川祥子氏は、「私が取り組む地域医療への貢献」と題した報告をしました。「認知症の発見・治療には、患者の方だけでなく家族やその他関係する職種の方との関わりが不可欠」と吉川氏。現在は、滋賀県内で行政を含めた各々の立場の人が認知症について考え、意見を交換し、新しい情報や知識を習得して認知症医療の向上を目指す「連携」を支えています。この取り組みが「全国どこでも受けることができる"認知症ケアの標準化"」として実現するために今後も活動していくと語りました。

5 経営学部 - 2014.11.22 -
産学交流会「経営事例発表ーチャレンジ!失敗を恐れずに!ー」

北大阪商工会議所との共催

経営学部が北大阪商工会議所と共催で、「摂南大学創立40周年記念 摂南大学・北大阪商工会議所 産学交流会」を開催しました。

産学交流会は3部構成で行われ、本学からは3年次生を中心に学生81人と教職員18人、北大阪商工会議所からは、青年部に所属する若手経営者ら56人が参加、司会と運営は学生と青年部が共同で担当しました。

第1部「経営発表会」では4人の経営者が経営事例を発表、起業までの苦労話やこれからの目標、地域貢献活動などを熱く語りました。

第2部「交流会」は、経営者と学生がグループとなって、「将来就きたい仕事」や「目指していること」などを書いた自己紹介シートをもとにディスカッションを行いました。懇親会にはお笑いグループ「超新塾」が登場、スピード



交流会でのグループディスカッション

感あふれるコントで会場を盛り上げ、続く名刺交換会では、学生たちは自作の名刺を手積極的に自己PRしました。

近隣地域の経営者から直接話を聞き、ディスカッションすることで、経営への理解と大学が位置する地域への愛着を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上を図る良い機会となりました。



若手経営者から話を聞いた経営発表会



自作の名刺で自己PR

6 外国語学部 - 2014.12.6 -
国際教養セミナー「酒の文化史ーグラスの中の世界史ー」

外国語学部は大阪市立住まい情報センターで「国際教養セミナー」を開催しました。テーマは「酒の文化史ーグラスの中の世界史ー」。メキシコ・中国・大阪で生まれた酒の歴史的・文化的背景について考察しました。

北條ゆかり教授は「メキシコの酒テキーラ」について紹介し、「テキーラは異文化融合の産物であり、先住民が作っていた発酵酒を、メキシコを征服したスペイン人が蒸留酒とした」と説明しました。

次に、谷口義介元教授は「中国の酒4000年」をテーマに、中国には紹興酒、汾酒、茅台酒という三大銘酒があると紹介し、「中国では酒造りに女性が関わっていた。酒造りと女性には何か深い関係があるので

はないか」と報告しました。

最後に、大阪商業大学伊木稔教授は、「初めて日本人の手で造られたのは大阪の『渋谷ビール』。初の国産ウイスキーは『サントリーウイスキー白札』として誕生しました」と洋酒文化の始まりについて話しました。

当日は、酒の歴史や美術などの資料やパネル展示も併せて行い、118人の方の参加がありました。参加者からは、「酒の歴史、世界の発生地と文化との関係について非常に勉強になった」などの感想がありました。



7 理工学部 - 2015.1.10 -
「科学技術教養」公開講義「太陽エネルギー」

理工学部は3年次生対象の講義「科学技術教養」を一般市民に公開しました。この科目は、理工学部の6学科(生命科学科、住環境デザイン学科、建築学科、機械工学科、電気電子工学科、都市環境工学科)の学生が、科学技術者に必要な幅広い知識として自身が所属する学科以外の分野の科学・技術の枠組みや基本原理、将来の動向などを学び、身に付けるために開講しているものです。寝屋川市駅前のアルカスホールに場所を移して講義が行われ、学生、一般市民合わせて約200人が受講しました。

今回は「太陽エネルギー」を共通テーマとし、生命科学科の松尾康光教授が「太陽エネルギーー環境と生物への影響ー」、住環境デザイン学科の森山正和教授が「暮らしの中の太陽エネルギーの利用」、電気電子工学科の片田喜章准教授が「宇宙太陽光発電が変えるロボットの未来」と題して分かりやすく科学技術のエッセンスを紹介しました。

聴講した市民からは、「大学の講義のエッセンスが聴けたことは良かった。知的好奇心がさらに高まった」、「太陽の恵みを色々なところから知ることができて面白かった」などの声が寄せられました。



寝屋川市駅前のアルカスホールで実施された公開講義



◀情報処理室等のPCを更新

情報教育支援

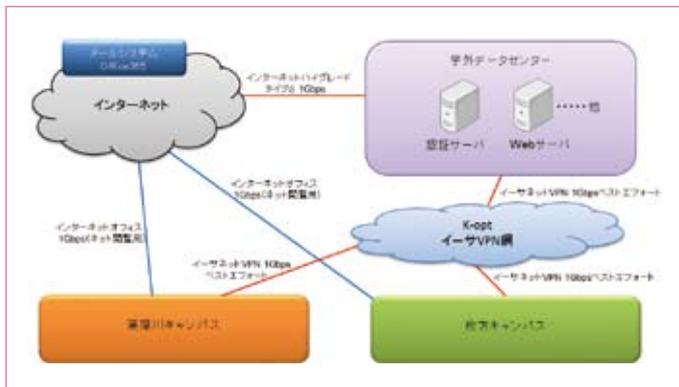
【教育研究用コンピュータシステムを更新】

4月から新しい教育研究用コンピュータシステムを導入します。情報処理(演習)室、CALL教室などのパソコン(PC)を最新の機器に更新するほか、学外インターネット回線の高速化や無線LANエリアの拡充、学外のクラウドやデータセンターのサービスなども導入します。3月末までに更新作業を実施し、新年度から運用を開始する予定です。

【主な変更点】

寝屋川キャンパスの情報処理室、CALL教室、経営情報学研究科パソコン室のPCおよび枚方キャンパス第1情報処理演習室のPCをCore i5/SSDモデルに変更します。これに伴い、OSはWindows8.1にOfficeは2013にアップグレードします。また、寝屋川キャンパスの自習専用教室(第8情報処理室)では、新しい机に置き換えPCを130台に増設するとともに、PC20台を設置した研修室を新たに設け、自習専用教室の満席時に利用できるようになります。

メールシステムについては、学内サーバーで運用のWebメール(Activemail)からMicrosoft Office365クラウドサービスのWebメールに変更します。これにより、学内の計画停電やメンテナンス時でも学外から利用が可能になります。メール領域は、現在の2GBから1TBと大幅に拡張されます。



さらに、ネットワークの増強として、学外(インターネット)回線を高速化し、回線の混雑による遅延を解消するとともに、無線LANは、現在、寝屋川キャンパスの図書館(10号館1~3階)や談話室(5号館1階)、17号館エントランスなど、枚方キャンパスの談話室や自習室(3号館地下1階1階、7号館1階・2階)などの限定したエリアから、新たに各キャンパスのほぼ全教室、部のゼミ室、食堂なども利用できるようエリアを拡張します。

その他、図書館のグループ閲覧室に、アクティブラーニング用の設備や双方向授業支援システム、PC教室の空席状況表示システムなども導入し、情報処理教育のさらなる向上を図ります。

研究支援

大学発「知」の見本市 「イノベーション・ジャパン2014」 に出展しました

昨年9月11日・12日、東京ビッグサイト(東京・有明)において「イノベーション・ジャパン2014」(主催独立行政法人科学技術振興機構、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)が開催されました。本学からは、理工学部住環境デザイン学科白鳥武講師の「早期復旧を可能とする地球共生型木造耐力壁システム」の研究成果が採択されブース展示を行いました。ブースには多くの企業関係者などが訪れ、展示内容について詳しく説明しました。



※イノベーション・ジャパン
「大学見本市&ビジネスマッチング」
我が国の産学連携を強力に推進するための国内最大規模の産学マッチングの場として、大学等から創出された研究成果の社会還元を促進し、技術移転ならびに産学連携への端緒となることを目的としたイベントです。



▲来場者に説明を行う白鳥講師



ブースを見学する▶
久禮理事長(中央)と今井学長(右)

2014年度 秋期教育懇談会を開催しました

後援会主催の秋期教育懇談会を昨年10～11月にかけて、本学会場(寝屋川・枚方)、学外8会場(難波、奈良、松山、福岡、米子、岡山、京都、金沢)で開催しました。ご多忙の中、全会場あわせて523組728名の保護者の皆さまにご参加いただきました。

教育懇談会は、今後も継続して開催しますので、今年度ご参加いただけなかった方も、次年度はぜひご参加いただければと思います。

ご参加いただいた保護者の皆さまから寄せられたご感想の一部を紹介させていただきます。



【福岡会場】(薬学部 2年)

去年の教育懇談会の内容がとても良かったので、今年は主人と二人で申し込みました。

しかし、9月末に送られてきた息子の成績表を見て愕然となり、足取り重く会場に向かいました。先生からは、資料を見ながら出席状況や履修科目など大変丁寧に説明していただきました。成績はよくなかったものの、大学祭で一生懸命頑張っていた様子を聞き、また息子のことを認めてくださり、親としては喜ばしく、概ね楽しい大学生活を送っているのだと少しだけ安堵しました。

その後の自由懇談会では、後援会役員の方の素晴らしい乾杯のあいさつに感動し、他の保護者の方たちと和やかな笑いあふれるまま会は終了しました。

面談を受けたことで一方的に叱ったり、やみくもにただ「頑張れ」と感情的になることもなく、冷静に息子と話ができたように思います。後援会の皆さま、大学の先生、事務の方々、貴重な時間をありがとうございました。今年も大変に充実したひとときでした。

最後になりますが、せっかく地方でこのような会を開催しているので、もっと多くの保護者の方に参加していただきたいと切に思います。とても温かみのある思いやりに溢れた大学の雰囲気に触れることができました。

【米子会場】(薬学部 4年)

今回の教育懇談会は4回目の参加となりますが、いつも家族にとって参考になるお話を聞かせていただき、息子に伝えております。

現在4年次に在籍している息子は電話でも、のんきな様子にうかがえます。教育懇談会に参加し、現状の学業等の資料を提示していただき、本当に厳しい現実を認識させられました。親としては、何とか6年間で卒業してもらい薬剤師国家試験に受かるよう、激励していきたいと思っています。何分、本人次第のことですが、地方から応援していきたいと思っています。どうもありがとうございました。

- ゼミの先生と直接懇談ができ、日頃の子供の様子が聞けたことが良かった。来春の大学での教育懇談会で就職の説明を聞きたいと思う。(難波会場 経営学部)
- いろいろなお話ができて、少し安心した。ありがとうございました。(松山会場 経済学部)
- 卒論の準備の中、遅くまで学校でチーム丸となり頑張っている子どもと付き合ってくださいゼミの先生に感謝している。卒業までの思い出となり就職してもよい仲間であってほしいと思う。本日はありがとうございました。(奈良会場 理工学部)
- 担任の先生は前回も今回も分かりやすく詳しく説明して下さるので大変ありがたい。まだまだ卒業までは先が長い、安心してお任せできる。(奈良会場 薬学部)
- 3回生にして初めての参加だった。娘の様子がよく分かり、和やかに過ごさせていただいた。ありがとうございました。(福岡会場 理工学部)
- 前回もそうだったが、子どものことをきめ細やかに見ていただいて感謝しています。(福岡会場 薬学部)
- よい取り組みですので、今後も継続していただきたいと思う。(米子会場 法学部)
- 親切に分かりやすく説明していただき良かった。気になるところも言っていただき良かったと思う。子どもには勉強に取り組んでもらいたいが、それだけでなくいろいろな経験を積んで成長してもらいたい。ありがとうございました。(岡山会場 外国語学部)
- 機会があれば、また参加したい。(京都会場 看護学部)
- 地方で開催していただいたので、参加しやすかった。参加するまで心配だったが、子どもの学校での様子や成績について相談でき、安心することができた。(金沢会場 外国語学部)



家計が急変し、学費の支払いに困った場合は

奨学金・教育ローン・学費減免・アルバイトのご案内

区分	名称	返済の要・不要
奨学金	①日本学生支援機構奨学金(JASSO)の緊急・応急採用	必要
	②貸与金額の増額(すでにJASSO奨学生の場合)	
	③民間の奨学金団体	
教育ローン	①国の教育ローン 日本政策金融公庫	必要
	②本学との提携ローン 学費サポートプラン(オリエンコーポレーション) 悠裕プラン(ジャックス)	必要
学費減免	学費減免制度(※給付制の学内奨学金を受給している者等、適用対象外となる場合があります)	不要

*申請にあたっては、申請書をはじめ収入に関する書類等が必要です。また、募集案内や説明会等、奨学金に関することは、ポータルシステムでお知らせしますので、情報は見逃さないようにしてください。

不慮の事故や災害等により家計が急変し、学業継続に支障が生じた場合の経済支援策をご案内いたします。

▶ アルバイトのご案内

パソコンや携帯電話からいつでもどこでも安心な求人情報が入手できるサービスを提供していますので、有効に活用してください。

◎利用にあたっては、(株)ナジックへのアルバイト登録が必要です。登録希望の方は、本学のHP>学生生活>「学生マンション・アルバイトについて」から手続きしてください。

「就カツ」保護者セミナーを開催

就職活動時における学生と親のより良い関わり方を理解し、実践することを目的として毎年開催されるセミナーです。今年は240人を超える保護者の方々が参加。第1部は今井学長と奥田後援会長のあいさつに続いて「家庭でできる就活支援」と題した講演を行い、第2部は本学4年次生によるパネルディスカッションを実施しました。

第1部

「家庭でできる就活支援」

講師：一般社団法人キャリアラボ
代表理事 松田 剛典氏

松田 剛典氏
教育系出版社や人材派遣会社での進路・就職支援業務の経験を生かし、現在は一般社団法人キャリアラボの代表理事として主に既卒者の就職支援を行う。



講演中の松田氏

■今年から変わる 就活スケジュール

2015年度から就活開始時期が3月に変わります。今一体何が起きているのか、その対策も含めてお話しさせていただきます。2015年度から

の就活時期は、2014年度よりも3カ月後ろ倒しになります。企業の説明会やセミナーは3月頃に開始し、選考が始まるのは8月頃。その後10月の内定式、4月の入社に向けて選考が進んでいくのが今年度の流れになります。選考期間は前年度より短くなっているんです。

だからこそ、準備期間が非常に重要です。複数の内定をもらう学生と、全く内定をもらえない学生。その差を分けるのは、偏差値や大学名ではなく、選考までいかに事前準備をしてきたかということ。昨年度までは、何回か選考に落ちて、悩む中で自分の進路を見つけることも可能でしたが、短期集中型になった分、それが難しくなります。

今の時期から積極的に行動している学生がいる一方で、出遅れて受け身になっている学生の姿も見られます。やり過ぎると依存してしまうので良くありませんが、親が時にアラームを鳴らすということも大事だと思えます。ニュースで見かけた就職セミナーなど就活準備の情報を伝え、動き出すきっかけを早目につくつてあげると良いでしょう。

■準備期間にするべき 対策は？

企業が採用で重視し続けているのは「主体性やコミュニケーション能力を

含む人柄」「企業に対する熱意」そして「入社後の可能性」の3つです。特に重視しているのが主体性。自分の考えで自ら就活に取り組む人は、企業にとって魅力的な人材に見えます。そういった意味で、早めの準備、企業へのアプローチが大切なのです。就活の準備は既に始まっていることをお子様に伝えてください。

■今どき就活の落とし穴

今の就職活動は、インターネット上のナビサイトで、企業の新卒採用募集の一覧が見られるようになっていきます。誰でもいろんな企業を受けられますが、圧倒的な企業の情報、連絡の渦に学生たちは巻き込まれてしまっているのが現状。ナビサイトに書いてある企業の魅力の裏側にある、仕事のしんどい部分が見えにくくなっています。そのため、視野が狭まって実際の仕事を理解せず、イメージ先行の就活をしてしまう学生が多いんです。そして、就職できて約3人に1人は3年以内に離職してしまいます。求人はたくさんありますし、企業も意欲的に採用している今、大事なことは長期的に見て納得のいく就職ができるかどうかなのです。

■幸せな就職のために、 親子の信頼関係を築く

学生の皆さんが就活について相談す

る相手が、最近では保護者であるケースが多くなっています。ただ、自分の親がどんな仕事をしているのかを知らないことが結構あるんですね。親子で対話し、仕事の良い面、悪い面を話すことは、子どもにとつて働くイメージをつけるきっかけになります。良いところだけでなく、苦勞やしんどい面も含めて伝えてください。

学生にとつて就職先の選択は非常に悩ましいこと。良くも悪くも親の意見は影響力が大きいのです。学生が良い決断をくだせるように、日々のコミュニケーションで本音を話せる関係を築いていただきたいと思います。



第1部
聴衆も参加しての講演

第2部

パネルディスカッション

「私はこうして内定を得た」

パネラー紹介(敬称略)

パネラー

外国語学部外国語学科

経済学部経済学科

経営学部経営情報学科

理工学部生命科学科

理工学部都市環境工学科

理工学部機械工学科

コーディネーター

本学教務部キャリア教育推進室

講師 水野武

- 土部 眞弥
- 杉本 陽平
- 土生 龍平
- 清田 将人
- 黒田 佳郎
- 山本 みか



第2部 パネルディスカッション

■就職活動におけるコツ

水野 まずは、事前に伺った皆さんの「就活のコツ」をお話しいただきます。黒田さんは「覚えない」。

黒田 志望理由や自己PRについて覚えてきた内容をそのまま面接官の方に話すと、次の質問にさらっと流されるのが何度かあったので。キーワードを投げて、聞いてもらって、答える。これが対話をつくるコツですね。

水野 山本さんは「ニッチな市場」と言うんです？

山本 どんな企業でもニッチな部分、つまりすき間があることに着目して「自分がすき間を埋める存在になる」ことを自己PRの軸にしています。業界を絞らずとも、ぶれない軸を持つべきですね。

水野 土部さんは「想像しやすく」ということですが。

土部 面接では対話が重要です。数字や場所の名前を出すなど、聞き手がイメージしやすいよう、具体的に説明するようにしていました。

■就職活動の中で、不安だったこと

水野 では、就活中に不安だったことやストレスに感じたことは？

土生 僕はひとり暮らしということもあって、金銭面でストレスを感じていました。実家からの援助もありまし

たが、なるべくアルバイトで賄っていました。就活が長引いてお金がなくなってしまう、両親に援助を頼むと快く承諾してくれたので、もっと早く相談すれば良かったです。

水野 就活中の友人関係はいかがでしたか？

清田 卒業研究のため、ほぼ毎日大学で友人と会うので、就活のことは常に話していました。仲間内で牽制しないように、内定状況は月末だけ報告するという決まりをつけていましたね。

水野 デリケートな問題なので、友人同士で触れにくいこともあるでしょう。ですから、なおさらご家族のサポートが必要なんです。

■就活についてのアドバイス

水野 最後に、就活のアドバイスをお願いします。

土生 大手の企業が絶対に良いというわけではなく、中小でも優良企業はたくさんあります。ネームバリューにこだわって「この企業知らない」と言わないでください。内定が決まったら、とにかくおめでとくと祝ってくださいね。

杉本 学生は就活に対して保護者の皆さんの何十倍も不安です。だからなるべく平常心を保てるように、日常をそのままにしていた方がいいです。また、「あの会社はあなたには無理だ、だめだ」と否定せずに、背中を押していただけだと思います。

保護者の皆さま

◆就職活動や進路についてのご質問、ご相談は下記<就職部>にて随時承ります◆

・寝屋川キャンパス(法・外国語・経営・理工・経済) ☎072-839-9109 ・枚方キャンパス(薬・看護) ☎072-800-1201

2015年度 新4年次(薬学部は新6年次)生を対象とした本学就職関係行事について〔予定〕

寝屋川キャンパス(法・外国語・経営・理工・経済)

日程	行事名	内容
5/14(木)~19(火)	学内合同企業説明会	学内合同企業説明会(1日約30社)
6/22(月)~26(金)	就職ガイダンス	①現在の就職状況 ②これからの就職活動
7/2(木)~7(火)	学内合同企業説明会	学内合同企業説明会(1日約30社)
9/11(金)~17(木)	就職ガイダンス	①就職環境の再確認 ②面接のポイント ③これからの就職活動
9/15(火)~17(木)	学内合同企業説明会	学内合同企業説明会(1日約20社)

枚方キャンパス(薬)

日程	行事名	内容
4/11(土)	病院フェア	学内病院説明会(実習先病院を中心に約50施設)
5/9(土)	学内合同企業説明会	学内合同企業説明会(約50社の薬局・ドラッグストア)

枚方キャンパス(看護)

日程	内容
4月~8月	看護学生をサポートする専門スタッフが一定期間常駐するほか、随時個別に対応します。

就職関係行事については、他学年も含めて本学HP(「就職・キャリア」年間行事予定)に掲載しております。

Tokyo Tower Light up Lighting Ceremony



受験生応援東京タワー ライトアップ点灯式に 福男の志和さん登場

1月16日、キットカット受験生応援東京タワーライトアップ点灯式に、一番福の男として志和智慧さんが登場しました。この点灯式は、受験生の「合格」を祈念して、午後5時9分(ごうかく)に「キット、サクラサクよ」の想いを込め、東京タワーをピンク色にライトアップするイベントで、センター試験前日の風物詩となっています。

受験生を応援する全ての人の想いをピンク色の光に乗せて、頑張る全国の受験生に福男の福が届きますように。

(志和さんの記事は本誌P.12でも紹介しています。)

東京タワーライトアップ点灯式での志和さん(左)
「一番福」に輝いた時の服装で、俳優の桜井美南さん(中央)
山田裕貴さん(右)とともに登場

2014年度 学位記授与式のご案内

日時:2015年3月24日(火) 11時～ 場所:寝屋川キャンパス 総合体育館

さ や け き

「さやけき」とは

「清けき」と書き、明るい、清々しい、清く澄んでいるなどの意味を表します。大学歌に「学風さやけき撰南の」という詞があるとおり、本学の明るく、若さあふれる清々しいイメージを象徴する言葉です。

表紙の人



左から(2番目)木瀬稜介さん、
塩崎良太さん、太田順也さん、
主藤 結さん

寝屋川市が産業振興推進事業として募集した「工業」「商業」「農業」「協働」部門に対する学生ビジネスプラン「ワガヤネヤガワベンチャービジネスコンテスト」で栄えある初代グランプリを受賞!

【写真は寝屋川市広報広聴課提供】

(詳細は本誌P.12で紹介しています。)

Smart and Human

常翔学園

摂南大学

■法学部 ■外国語学部 ■経済学部 ■経営学部 ■理工学部
■薬学部(6年制) ■看護学部 ●大学院

発行日:2015(平成27)年3月6日

発行:摂南大学 学長室 企画課

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8

T E L : 072-839-9450

U R L : <http://www.setsunan.ac.jp>